Infrastructure Manager / Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V3.1.0

用語集

CA92344-5888-01
2025年3月

改　版　履　歴		
版数	**作成年月**	**変更内容**
1.0	2025 年 3 月	新規作成

No.	用語	意味
1	CA 証明書	認証局（CA：Certification Authority）により署名された証明書です。
2	HCL	Hardware compatibility List の略称です。 OS（VMware ESXi バージョン）と互換性があり、動作することが証明されているファームウェアの一覧が記載されたリストです。
3	ISM	本製品、Infrastructure Manager の略称です。
4	ISM-VA	本製品は仮想アプライアンス形態で提供されます。ISM がパッケージ化された仮想アプライアンスを ISM-VA と記載します。
5	ISM 管理者	Administrator グループに属し、Administrator ロールを持つ ISM ユーザーを指します。
6	ISM 連携管理	他 ISM のステータス情報をダッシュボード上に表示して、ステータスを管理することです。
7	LDAP グループ連携	Microsoft Active Directory または OpenLDAP 上のグループと、ISM のユーザーグループを関係づける機能です。 Microsoft Active Directory または OpenLDAP のグループに属するユーザーアカウントは、ISM にアカウント作成する必要なく、ログインが可能になります。
8	Offline アップデート	ノードの電源がオフの状態（PCI カードの場合は搭載されているサーバーの電源がオフの状態）で行うファームウェアアップデートです。
9	Online アップデート	ノードの電源がオンの状態（PCI カードの場合は搭載されているサーバーの電源がオンの状態）で行うファームウェア/ドライバーアップデートです。 サーバー（BIOS/iRMC）の場合は、電源がオフの場合も使用できます。
10	SDS	Software Defined Storage の略称です。サーバーに搭載されている物理ディスクをまとめてソフトウェア的に定義したストレージ、およびその管理技術を指します。
11	SSL 証明書	SSL または TLS 暗号化通信するための電子証明書です。
12	Storage Spaces Direct	略称：S2D（記憶域スペースダイレクト）。Microsoft 社が提唱する仮想ストレージを管理する機能です。
13	VA 操作権	REST API から ISM-VA の環境設定、基本設定、およびライセンスの登録、削除、置換を行う際に必要な権限です。
14	vSAN	Virtual SAN の略称です。VMware 社が提唱する仮想ストレージを管理する機能です。
15	3D ビュー	フロア内に配置されたラックとラック内のノードを 3 次元表示し、ステータスや吸気温度、消費電力を俯瞰して監視できます。
16	アカウント	アカウントとはコンピュータの利用者を識別するための標識となる文字列のことです。ISM では ISM にログインするユーザーアカウントとノードのアカウントを扱います。
17	アノマリ検知	ハードウェアやソフトウェアの挙動やリソース消費状態などが普段とは異なることを検出することです。

No.	用語	意味
18	アラーム	ノードから通知されたイベントや、ノードに対する通知情報、および SNMP トラップの発生を総称してアラームと呼びます。ISM が検出したアラームは、以下の画面で表示させることができます。 ● [イベント] – [イベント] – [運用ログ]画面 ● [イベント] – [イベント] – [SNMP トラップ]画面 運用ログに記録されるアラームは情報の重大度に応じて Error, Warning, Info に分類します。SNMP トラップの場合は Critical, Major, Minor, Informational に分類します。 ISM はアラームを検出したときのアクションを、アラーム設定として指定することができます。
19	アラームステータス	アラームステータスは、ノードごとに ISM がアラームを検出したことを示します。該当ノードにアラームが 1 件以上発生したことを意味します。 アラームステータスはアラーム解除の操作により、アラームを確認したものとして消去されます。
20	イベント	イベントとは、ISMが管理するノード、仮想化管理ソフトウェアおよびISM自体で発生したすべての事象を指します。 イベントは運用ログと監査ログおよび SNMP トラップに分類して管理します。
21	イベント出力抑止モード	イベント（No.20記載）を運用ログや監査ログに出力する、または出力しないかを表す設定です。 イベント出力抑止モードを有効にした場合、ISMが仮想化管理ソフトウェアを管理するためのアクセスを停止することによってイベントが発生しないようにします。なお、ISMが管理するノードに対してイベント出力抑止モードは有効になりません。
22	イベントログ	ノードログ表示する際に出力されるログの種類のひとつ。イベント系ログ
23	インフラ	情報システムを構成する ICT 機器(サーバー、ストレージ、スイッチ)およびサーバーOS/ハイパーバイザーです。
24	ウィジェット	ダッシュボードに表示する各部品をウィジェットと呼びます。 それぞれのウィジェットは表示する内容が異なりますので、必要に応じてダッシュボードに配置してください。
25	運用ログ	次のイベントを ISM が検出した際に運用ログとして記録します。 ● ノードが持つ正常・異常の状態変化 ● ノードから取得した温度、消費電力、FAN 回転数、リソースの使用率、ディスク転送速度、ネットワーク通信量が ISM に設定した正常範囲外となった ● タスクの開始、終了 ● ISM の起動、停止、異常発生 ● 管理対象ノードに対する設定や操作の記録

No.	用語	意味
26	仮想化管理ソフトウェア	ISM では VMware vCenter Server、Microsoft System Center に加えて、Microsoft Failover Cluster なども仮想化管理ソフトウェアとして扱います。 ISM では、Cloud Management Software の略称で"CMS"と表記されている場合もあります。 サポートする仮想化管理ソフトウェアの詳細については、『解説書』の仮想化管理ソフトウェア管理機能の記事を参照してください。
27	仮想リソース	ISM で管理できる仮想的なシステムリソースを指します。ISM では仮想リソースとしてストレージプールの管理ができます。
28	監査ログ	次のイベントを ISM が検出した際に監査ログとして記録します。 ● ユーザーのログイン、ログアウト、ログイン失敗 ● 不正な URI アクセス ● ISM の起動、停止、異常発生 ● 管理対象ノードに対する設定や操作の記録 監査ログは、ISM 管理者のみ閲覧することができます。
29	管理サーバー	ISM-VA が動作する仮想マシンを管理サーバーと呼びます。
30	管理端末	ISM を操作するためのパソコン、タブレットです。
31	記憶域プール	Microsoft Storage Spaces Direct が管理する仮想的なストレージ域を指します。記憶域プールはサーバーに搭載された複数の物理ディスクを仮想的なストレージ域としてソフトウェア定義したものです。
32	緊急用コード	多要素認証において、認証コードを表示する端末が故障・紛失などで使用できなくなった場合に、使用するコードです。認証コードの代わりに緊急用コードを用いて、ISM にログインできます。
33	グローバルナビゲーションメニュー	ISM の各画面上部に表示されるトップメニューです。 
34	[更新]ボタン	[更新]ボタンは画面を更新するためのボタンです。ISM は基本的には画面を自動更新しません。
35	サステナビリティモニター	ISM で管理するインフラ機器について、サステナビリティの環境に関するデータを可視化・提供する機能です。 以下のデータを可視化・提供します。 ● 消費電力量 ● CO2 排出量
36	自己署名証明書	SSL 証明書のうち、証明書を利用するサーバーの秘密鍵で署名された証明書です。

No.	用語	意味
37	シングルサインオン	略称：SSO。一般的にシングルサインオンとは、1 度のサインオン(認証)で複数の Web サーバーへのアクセスを可能(認可)とする機能です。 ISM のシングルサインオンは、ISM にログインすると、ノード登録した PRIMERGY サーバーの Web GUI（iRMC）の操作を可能とする機能です。
38	ストレージプール	サーバー搭載の物理ディスクを統合して構成される、仮想的なストレージリソースです。サーバーに搭載されるディスク数やその容量など、物理的な構成を考慮することなく、ストレージの切り出しや管理を柔軟に行うことができます。 ISM の仮想リソース管理機能により、以下のストレージプールを管理できます。 ● VMware VSAN の VSAN データストア ● Microsoft Storage Spaces Direct の記憶域プール
39	セキュリティログ	ノードログ表示する際に出力されるログの種類のひとつ。セキュリティ系ログ
40	セットアップキー	多要素認証クライアントアプリケーションに設定する文字列です。多要素認証を有効にしたユーザーにおいて、初回ログイン時に ISM GUI に表示される QR コードを読み込む代わりに使用できます。多要素認証クライアントアプリケーションによっては、秘密鍵やコードと呼ばれることもあります。
41	操作ログ	ノードログ表示する際に出力されるログの種類のひとつ。操作系ログ
42	ダッシュボード	ノードの状態などの概要をまとめて表示することができる画面です。さまざまな目的のウィジェットを必要に応じて選択して表示することができます。
43	タスク	タスクは ISM が実行する処理のうち、時間がかかる処理を指しています。 タスクの処理状態を「タスク」画面に表示します。 タスクで実行する処理の詳細については、『解説書』のタスク管理の記事を参照してください。
44	電力制御	ラックに対して消費電力の上限値を定めて、その目標に抑えるようにラックに搭載された機器をコントロールします。
45	電力制御ポリシー	電力制御の機能において、運用のパターン別の定義を指しています。 2 種類のカスタム定義と、スケジュール運用の定義、最低消費電力運用の定義(ミニマム)の 4 種類が存在します。運用パターンに従って、消費電力の上限値を定義し、それを切り替えて運用することができます。
46	認証コード	多要素認証を有効にしたユーザーにおいて、ユーザー名とパスワードに加えて、ログインに必要となる情報です。 ISM で表示する QR コードを、端末にインストールした多要素認証クライアントアプリケーションでスキャンした後、多要素認証クライアントアプリケーションに表示される番号です。多要素認証クライアントアプリケーションによっては、ワンタイムパスワードや確認コードと呼ばれることもあります。
47	ネットワークマップ	ネットワークを管理する画面です。ノード間のネットワーク接続状態の表示、ポートに対する設定、設定情報の確認などを行います。
48	ノード	ISM が管理対象とする ICT 機器およびファシリティ機器をノードと呼びます。

No.	用語	意味
49	ノードグループ	ノードの管理単位です。業務、部門等の単位でノードをグループ化できます。 ISM は管理対象のノードをグルーピングして管理することができます。ノードグループはユーザーグループと対応付けして管理します。
50	ノードログ	ノードログはノードが有しているログ情報（保管ログ参照）を指定した条件で表示したものです。
51	ノードステータス	実際にノードから取得した状態をあらわしています。
52	ファームウェアベースライン	管理対象ノードのファームウェアバージョンと定義したファームウェアバージョンを比較する機能です。ユーザーが定義したファームウェア版数と比較してノードが意図したファームウェア版数で動作しているかどうかを表示します。
53	フロアビュー	フロア内のラック配置位置をイメージ表示する画像です。フロア内に配置されたラック内のノードのステータスを俯瞰して監視できます。
54	プロファイル	プロファイルはノードに設定値を一括設定する目的で、設定値をひとまとまりのデータに集約したものです。 ISM がノードに対する設定を行うには、プロファイルを作成し適用する手順を踏みます。 プロファイルを通してノードのハードウェア設定および OS のインストールができます。
55	保管ログ	ノードのログ情報を収集し ISM に取り込んだ状態を保管ログと呼びます。ノードは以下のログ情報を有しています。 ● ハードウェアログ ● オペレーティングシステムログ ● ServerView Suite ログ
56	分析 VM	仮想化環境のトラフィックを解析するための仮想マシンを分析 VM と呼びます。
57	ポリシー	ポリシーはプロファイルの設定を補助するための仕掛けです。複数のプロファイルの同一の設定項目を同一の値に指定にするために使用します。
58	ポリシーグループ	プロファイルグループ／ポリシーグループ 多数のプロファイルおよびポリシーの管理を容易にするため、プロファイル、ポリシーはそれぞれ階層構造を持つ任意のグループを作成した上で、特定のグループ内に作成します。 任意に作成するグループの他、デフォルト状態で作成されているグループも存在します。
59	メンテナンスモード	ISMが管理するノードか、ISM自体で発生するイベント（No.20記載）を運用ログや監査ログに出力する、または出力しないかを表す設定です。 メンテナンスモードを有効にした場合、ISM がノードを管理するためのアクセスを停止することによってイベントが発生しないようにします。

No.	用語	意味
60	モデル毎プロファイル モデル毎ポリシー	モデル毎に応じた設定項目をノードから取得することで、より詳細なハードウェア設定を行うことができるプロファイル／ポリシーです。 モデル毎プロファイルは、設定項目を取得した同一モデルに適用できます。 モデル毎ポリシーは、複数のモデル毎プロファイル間で同一の設定内容となる部分を抜き出して、一括設定するための仕組みです。
61	ユーザーグループ	ISM を利用するユーザーの管理単位です。Administrator グループ、Administrator グループ以外の 2 種類が存在し、業務、部門等の単位でユーザーをグループ化できます。
62	ユーザーロール	ISM に対する操作権限です。Administrator ロール、Operator ロール、Monitor ロールの 3 種類が存在し、任意のユーザーグループに割り当てます。
63	ラックビュー	ラック内のノードの搭載位置をイメージ表示する画像です。 ノードのモデル名、ノードの状態（正常/異常）、ノードの LED 点灯状態（点灯/消灯）等も表示します。
64	リポジトリ	ISM が利用する各種データを保管する ISM-VA 内の領域です。主に以下の用途で利用します。 ● ファームウェアアップデート用のファームウェアを保管 ● OS インストール用の OS インストールイメージを保管 ● OS インストールに使用する ServerView Suite DVD を保管
65	リモートスクリプト	外部ホストの OS 上に配置されているバッチファイル、シェルスクリプトファイルを指します。 アラームのアクション（リモートスクリプト実行）で使用します。